



これは何でしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

- しめきり 11月14日(月)必着
- あて先 〒783 南国市大浦甲二二〇一 南国市企画課 親子クイズ係
- 賞品 正解者の中から抽選で5人の方に図書券を進呈
- ◎第20回親子クイズの答えは、地球儀でした。
- 第20回当選者発表(敬称略)
- (応募総数26通)
- 石田浩己 (徳島)
- 斎藤秀夫 (緑ヶ丘)
- 榎浦邦太 (久礼田)
- 原内大作 (大浦)
- 岡林千尋 (包末)

思い出がいっぱい

◆宇宙飛行士向井千秋さんが、スペースシャトル「コロンビア」号で見た地球は、こんなだったでしょうか。

◆小学校に入塾したとき買ってもらった地球儀が、今でも家にあります。ソ連がなくなったり、アフリカでは多くの国が独立したり、ずいぶん国名も違っていました。また、くるくる回して遊んだ思い出があつて捨てられませんが、今回のクイズであらためて出してみても懐かしかったです。

◆子供のころ、宿題に飽きると机の上の地球儀をぼんやり眺めていたものだ。地球が狭くなったといわれる今、昔とは国名の変わったところも多い。今度はしっかりと地球儀を見つめたいものだ。

◆地球儀を見ると、狭い日本を飛び出して世界中を回ってみたいと思います。少しずつ夢がふくらんで楽しい気分になりますね。

◆子供たちが使った地球儀は、世界の国々を(もちろん行ったこともない)テレビのニュースなどで初めて聞く国々を探して見つけたときのうれしさを子供のように看んだりしています。



みんなの

広場



バイオ技術で新種開発 !?

— 高知農業高校 生物工学 —



今年度から、カリキュラムの改正により正式に授業として取り入れられた生物工学。高知農業高校では、バイオ技術を使つての植物栽培が行われています。

現在、生徒たちは、雑菌に弱く、ラン菌がない場所では育たないランの無菌培養に取り組んでいます。デリケートな植物を扱うため、殺菌したピンセットを持つ手も心なしか慎重。9月に無菌播種したコチョウランを、カンテンに肥料などを混ぜた培地に移植する作業をしていました。

担当の下川先生によると「1つの細胞から完全な形の植物が再生でき、その生育過程が見られるので、興味深いですよ。ただ、かなり時間がかかるので大変ですけど、生徒の中にも興味を持つ子もいます。そのうち、学校で栽培した花を、地域の方たちに安く販売できるといいですね」とのこと。新種を目指して頑張ってください。

今月は、毎月広報なんごくを「愛読く」ださつている、神奈川県鎌倉市にお住まいの有澤寛さんから、お便りが届きましたのでご紹介いたします。

鎌倉だより

故郷南国市をあとにし、鎌倉市に住むようになっていつしか十五年が過ぎ、髪に白さを加えてまいりました。

鎌倉といえは幕府を連想されると思いますが、鎌倉には、一九二二年、源頼朝によって、日本最初の武家政権が樹立されました。やがて北条氏が代わつ



平成6年8月 七里ヶ浜より稲村ヶ崎方面を望む
義直が無投せし古戦場 今は海の大園となる
有澤 寛

てしばらく続いたあと、一三三三年新田義貞に攻め滅ぼされ、その幕を閉じたわけですが、「いざ鎌倉」の台詞が生れたほどに、この百四十余年間は最も華やかで、悲惨な鎌倉の一時代でした。もし、幕府がなかったら中世日本の歴史は大きく異なり、鎌倉においても歴史的遺産はできず、自然景観も今のように保持されたかどうか。また、観光客は半分も訪れることはなかったらと推測します。昨年度鎌倉の観光客は、市の推計で二千二百七十五万人だったそうです。

南国市と人口の比較をしてみると、首都圏と称するこの辺りは人口が多すぎるようです。数字で恐ろながら、鎌倉市の人口は十七万二千余人、面積は約三十九・五平方キロです。人口密度にしますと南国市の十一倍強となります。県単位で比較してみると、神奈川県は約八百二十万人、面積は約二千四百十三平方キロで、人口密度は高知県の二十九・四倍ほどになります。

山高きがゆえに噂からず、人多きがゆえに良い自治体とは言えず、末筆ながら南国市の健全な発展を心からお祈りします。

われら サカレ仲間



今回は市体ゲートボール大会優勝の「OKチーム」(岡豊町)を紹介します。

ゲートボールの歴史は古く、終戦後の昭和22年ごろ北海道で始まっていますが、県内での歴史はまだ浅いようです。しかし、競技レベルは比較的高く、過去には全国制覇をしたチームもあるとのこと。こうした中「OKチーム」は、12年前、地域のお年寄りのいきがいや親睦を願って結成。現在メンバーは11人。練習は毎日夕方、市農協岡豊支所東隣にあるゲートボール場で行っています。おじやました日は8人のメンバーが集まっており、お互いの技術を交歓しながら、和気あいあいと元気いっぴいのプレーを繰り広げていました。

チーム代表者の高橋達雄さんは、「ゲートボールは何といっても集中力と度胸が大切。また試合での心地良い緊張感が格別なんです」と話してくれます。

「OKチーム」は市内で行われる大会での優勝のみならず、県大会においても何度も優勝経験があり、全国大会出場はもちろんのこと、昭和60年には世界選手権へも出場するなど、輝かしい実績を持ったチームです。